

宮城県内におけるガンカモ類生息調査の結果について（確定値）

（令和7年11月6日実施）

1 生息数及び構成比

種類	羽数：羽	構成比：%	備考
ガン類	209,834	88.5	過去4番目
ハクチョウ類	4,695	2.0	過去11番目
カモ類	22,657	9.6	過去51番目
計	237,186	100.0	過去5番目

※ 11月調査は昭和47年度から実施しており、今年度は54回目となる。

2 前年同期との比較

調査月日	ガン類	ハクチョウ類	カモ類	計	単位：羽
令和7年11月6日	209,834	4,695	22,657	237,186	
令和6年11月7日	173,182	6,884	30,480	210,546	
増減	36,652	▲2,189	▲7,823	26,640	

3 主な確認地

地点名 市町村 羽数

(1) ガン類

			昨年の羽数
	伊豆沼・内沼 (栗原市・登米市)	105,793 羽	112,824
	蕪栗沼 (大崎市)	103,061 羽	59,727
	迫川-ニツ屋橋付近 (登米市)	515 羽	300

(2) ハクチョウ類

			昨年の羽数
	伊豆沼・内沼 (栗原市・登米市)	1,104 羽	989
	大沢川 (石巻市)	489 羽	111
	迫川-ニツ谷橋付近 (登米市)	295 羽	320

(3) カモ類

			昨年の羽数
	大沼 (仙台市)	2,995 羽	3,726
	佳景山 (石巻市)	1,621 羽	0
	伊豆沼・内沼 (栗原市・登米市)	1,404 羽	1,428

4 調査箇所数

県内のガン、ハクチョウ、カモ等の飛来地 492か所

5 調査人員

県職員、県自然保護員、蒲生を守る会及び日本雁を保護する会等

102人

6 その他

本調査の内容については、宮城県自然保護課ホームページで確認できます。

HPアドレス <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sizenhogo/gankamo-top.html>

7 飛来状況

全体として順調な増加傾向が認められる。ガン類が増加した一方で、ハクチョウ類、カモ類は宮城県より北に留まっている群れが多いため、個体数が減少したと考えられる。今後、寒さが厳しくなるにつれて、ハクチョウ類、カモ類も増加すると考えられる。